

## 第2回第七採択地区教科用図書採択協議会

### 議事録

期 日 令和元年7月22日(月)

場 所 桶川東公民館 大会議室

開 会 午前9時00分

閉 会 午後4時30分

令和元年度 第七採択地区教科用図書採択協議会会長 高瀬 浩

委 員 鴻巣市教育委員会 武藤 宣夫 教育長 石原 完 委員

北本市教育委員会 清水 隆 教育長 大保木道子 委員

桶川市教育委員会 岩田 泉 教育長 水村 実男 委員

伊奈町教育委員会 高瀬 浩 教育長 澤田 誠一 委員

事務局 桶川市教育委員会教育部長 家徳 丈夫

伊奈町教育委員会学校教育課長 水落美佳子

桶川市教育委員会学校支援課長 西納 聡

伊奈町教育委員会学校教育課指導主事 松尾 美樹

桶川市教育委員会学校支援課主任指導主事 阿久津裕一

1 開 会

2 あいさつ 第七採択地区教科用図書採択協議会会長（伊奈町教育委員会教育長）

3 日程等の確認及び説明

（事務局）日程等の説明

4 調査報告・質疑

（司 会）協議に入る。ここからは高瀬会長に議長をお願いする。

（議 長）それでは、協議に入る。

記録について、要点のみ記録することによろしいか。

（全 員）異議なし。

（議 長）発言者については、議長とか委員Aという形によろしいか。なお、記録作成のため、録音させていただく。記録が済み次第消去するというので、いかがか。

（全 員）異議なし。

（議 長）傍聴人は第七採択地区教科用図書採択協議会傍聴人規約に基づき、傍聴願う。それでは、協議に入る前に、選定の流れについて事務局に説明願う。

（事務局）選定の流れについて確認する。

協議終了後、教科用図書選定の時間において、協議の内容から委員の皆様のご意見により決定していく。委員全員の意見が一致したときには、その図書を第七採択地区の選定案として決定する。一致しなかった場合、規約第13条により、投票となる。投票の場合は規約第13条の2項により、過半数を得た教科用図書を選定案として決定する。また、規約第13条の3項により、過半数を得ない場合は、得票数の多い順から2種類の教科用図書について投票を行い、多数を得たものを選定とする。規約第13条の4項において、得票数が同じ場合、選定前の協議経過を勘案して会長が決

するとなっている。

選定の流れについては以上。

(1) 保護者の代表による研究結果の報告

(議長) それでは、研究結果の聴取に入る。はじめに、保護者の代表による研究結果の報告である。事務局から保護者の代表を紹介する。

(事務局) 保護者の代表として2名の方に依頼し、小学校の教科用図書全般にわたって研究していただいた。その結果を聞き取り願いたい。

(議長) それでは、よろしく願います。

(保護者代表) 保護者の立場から国語・書写・算数・音楽・図画工作・英語の教科用図書を調査した結果を報告させていただく。

[国語]

○「東京書籍」は、各単元を「つかむ」「取り組む」「ふり返る」という構成になっており、学習の過程が示されており、見通しをもって学習できるようになっていた。

○「学校図書」は、学習活動の流れを見開きで示してあり、学習の過程を明確にし、見通しをもって学習できるよう工夫されていた。

○「教育出版」は、「話すこと・聞くこと」では、日常生活との関連や、カード、ビンゴ、動作を取り入れた活動ができるよう工夫されていた。

○「光村図書」は、「見通しをもとう」や「ふりかえろう」があり、児童が自分で学習の確認ができるよう工夫されていた。

[書写]

○「東京書籍」は、新出漢字や筆順の学習で一画一画の筆順が分かるように色分けして示していた。

○「学校図書」は、毛筆の手本が半紙と同じ大きさの原寸大で見開きになっており、

大きく見やすかった。

○「教育出版」は、キャラクターに吹き出しや動きをつけることで、視覚的にもポイントが分かるように工夫されていた。

○「光村図書」は、マークやキャラクターを入れながらポイントを分かりやすくしていたり、顔マーク等で自己評価するような工夫があったりした。

○「日本文教出版」は、電球マークを使って大切なポイントを示したり、キャラクターの言葉にヒントが含まれ、学びが深まるよう工夫されたりしていた。

#### [算数]

○「東京書籍」は、絵本のような、大判の教科書、操作活動が自在にできたり、「学びの扉」が掲載され、学習の進め方からマイノートの作り方まで工夫されたりしていた。

○「大日本図書」は、「ふくろう先生のならほど算数教室」において、社会で生かされている算数が実感できるよう工夫されていた。

○「学校図書」は、サイズがA B判で開きやすく、教科書上で作業する部分が広く、書き込みしやすくする工夫がされていた。

○「教育出版」は、単元のまとめを「4コマ漫画」で示し、学んだことのよさや考え方を振り返ることができるようになっていた。

○「啓林館」は、「わくわく算数ひろば」など身のまわりにある算数を見つけるような題材があり、算数のよさが実感できるようになっていた。

○「日本文教出版」は、学校生活に関するイラストから算数の問題を見だし、学習に進んで関わられるように工夫されていた。

#### [音楽]

○「教育出版社」は、歌に関わる景色等の写真やオーケストラの資料など写真や図がたくさんあり、児童が音楽に親しみやすくなっていた。

- 「教育芸術社」は、学ぶことが各ページにおいて大きく示されており、児童が学習の見通しを持って取り組むことができるようになっていた。

#### [図画工作]

- 「開隆堂」は2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けての作品作りやコンピュータによる造形表現が紹介され、児童が興味・関心をもって取り組めるようになっていた。
- 「日本文教出版」は、児童の活動の様子や、身近なものから美術作品まで生活や社会の中にあるいろいろな図を掲載していた。

#### [英語]

- 「東京書籍」は、別紙ピクチャーディクショナリーでは、持ち運びがしやすく、自主学习に活用しやすくなっていた。
- 「開隆堂」は、英語を使って何ができるようになったか、すぐにわかるように「学んだことリスト」があった。
- 「学校図書」は、カットやイラストが充実していて、とてもカラフルなページが多く、児童にとっては興味を引きやすい表記や表現となっていた。
- 「三省堂」は、実際の生活に密着した身近な場面をシンプルに扱っており、題材が児童にわかりやすくなっていた。
- 「教育出版」は、折り込むかたちのページがあり、広げると「日本の名所・名物マップ」が見られるようになっていて、児童の興味を高める工夫があった。
- 「光村図書」は、ペンマンシップシートという、水性ペンで書いて消せるホワイトボード形式のシートが付いていた。
- 「啓林館」は、表現したいことや聞き取ったことを直接すぐに書き込んだり、メモをしたりできるような構成になっていた。

(保護者代表) 保護者の立場から社会・地図・理科・生活・家庭・保健・道徳の教科用図書を調査した結果を報告させていただく。

#### [社会]

- 「東京書籍」は、キャラクターが学習の案内役をしており、写真・図表・グラフが多くあり、見開きごとに通し番号がつけられていた。
- 「教育出版」は、ワイドな資料や大きいイラストが多く掲載されていて、児童の興味関心を引くような工夫がされていた。
- 「日本文教出版」は、見開き2ページで情報量が豊富に掲載されているが、写真・図表・グラフが重ならないようにレイアウトされていた。

#### [地図]

- 「東京書籍」は、イラストを豊富に掲載し、初めて地図を手にする際の楽しさが実感できるように構成されていた。
- 「帝国書院」は、地域の特産物や伝統工芸などがイラストで示されており、地域の特色をとらえやすい工夫があった。

#### [理科]

- 「東京書籍」は、「学ぶ前の私」「学んだ後の私」とあり、児童が自分の成長に気づけるような工夫がされていた。
- 「大日本図書」は、クイズやすごろくなどがあり、児童の興味関心を高められるような工夫がなされていた。
- 「学校図書」は、写真が豊富で、実験の方法や観察の仕方などを、わかりやすくとらえることができるようになっていた。
- 「教育出版」は、キャラクターを使い、児童が進んで興味をもち、理科を楽しく学習できるようになっていた。

- 「啓林館」は、他の教科との関連や、保護者を巻き込んだ取組等、学習の幅を広げようという工夫があった。

#### [生活]

- 「東京書籍」は、習慣や技能、学び方を身に付けるための「かつどうべんりてちょう」、そのまま取り外せる原寸大の動植物図鑑「ポケットずかん」などが、豊富に掲載されていた。
- 「大日本図書」は、児童の生活圏にある、身近な人々、社会や自然を学習の対象としていて興味関心を高めるための配慮があった。
- 「学校図書」は、上巻「あそびにいこうよ」では、四季の自然を取り上げ、子供の興味関心を高めるように配慮されていた。
- 「教育出版」は、資料がクイズになっていたり、想像力を必要とする「もしも」などが設定されていたり、児童が考えたいくなるような工夫があった。
- 「光村図書」は、活動場面などには、児童が考えるための「ヒント」を示しており、児童が自ら考え、学べるよう配慮がされていた。
- 「啓林館」は、自然災害、交通災害、人的災害の3つの視点をもとに、適切な行動や基本的な知識が身に付くような資料が充実していた。
- 「日本文教出版」は、「ちえとわざのたからばこ」では、学び方図鑑と、自然・生活図鑑があり、必要な知識や習慣が身に付くように配慮されていた。

#### [家庭]

- 「東京書籍」は、一つの実習を見開き2ページで示されていて、開いた状態でそれを確認しながら実習できるようになっていた。
- 「開隆堂」は、日常生活のなかでなぜそうするのか、という問いかけがあり、生活を科学的に見ることができるよう工夫があった。

## [保健]

- 「東京書籍」は、教科書内に「ステップ1」から「ステップ4」があり、児童にとって授業の流れが分かりやすくなっていた。
- 「大日本図書」は、学習内容に関する新し知識や補足の説明があり、児童に理解を深める工夫がされていた。
- 「文教社」は、スポーツ選手に関する内容が随所に取り上げられ、その選手の運動種目と関連づけられていた。
- 「光文書院」は、「はじめに」「調べよう・考えよう・やってみよう・話し合おう」「生かそう・伝えよう」と学習の流れが児童にとって分かりやすくなっていた。
- 「学研教育みらい」は、自分自身の経験を振り返ったり、点検したりする内容があり、自分にとって身近なこととして考えられる工夫があった。

## [道徳]

- 「東京書籍」は、「いじめのない世界へ」を全学年に配置し、「いじめをしない、許さない心」を下支えできるようにしていた。
- 「学校図書」は、マンガ、写真、大きなイラスト、グラフ、写真、新聞など、児童の興味関心を引き付ける資料が豊富にあった。
- 「教育出版」は、重点テーマ「いじめ問題」「生命尊重」「情報モラル」の3つを掲げ、全学年を通じて学習できるようにしていた。
- 「光村図書」は、生命の尊さについて特に力が置かれており、全学年に3つずつ位置付けられていた。
- 「日本文教出版」は、教科書と別冊の「道徳ノート」があり、教科書の「考えてみよう」に対する自分の考えを別冊に記入することができるようになっていた。
- 「光文書院」は、児童に親しみやすいキャラクター設定をし、キャラクターが問いを投げかけたり、振り返りのポイントを示したりする工夫があった。

- 「学研教育みらい」は、「ふかめよう」「つなげよう」「広げよう」「やってみよう」の特設ページで友達と議論し考えを深めることができるような工夫があった。
- 「廣済堂あかつき」は、子供の心の成長に関する「家庭との連携」について本冊、別冊ともに記載してあった。

## (2) 調査員による調査研究結果の報告・協議

(議長) 調査員による調査研究結果の報告に入る。

### ①国語

(議長) 国語の調査員代表、よろしくをお願いします。

(調査員代表) 報告書に基づいて、国語4発行者について報告する。

(議長) 質問はないか。

(委員 A) 3市1町の児童の状況を考えて、有効な手立てを講じていると思われる発行者があれば、お示しいただきたい。

(調査員代表) 4社ともに学習過程の手順が示されており、児童が主体的に学習する上でよいと感じる。ゆとりをもった紙面であるが、東京書籍、光村図書については、5・6年で学年1冊になっており、中学校に向けた環境の変化に対応している。学校図書、教育出版については、上下巻であり小学校で使用する分には、非常に扱いやすいと感じる。

(委員 B) 日常生活に必要な国語の基本的な理解を小学校段階においては、身に付けていくことが必要。そのためのよい教材はあったか。

(調査員代表) 例えば、単元の最終ページに大切なものを示している。児童がつまずきやすい課題のある事項について、練習教材がついている。などがある。

(委員 C) 最近の若者の国語が乱れているというが、それに対応して今回の改訂で

力をいれているところはあるか。

(調査員代表) どの教科書においても、「言葉」を大切にし、指導していく扱いになっている。

(委員 D) 教科書は、学年によってもよさは異なる。教師は、それを分かった上で教科書を使って授業をする必要がある。トータルで見たとき、これが特によかったというものはあったか。

(調査員代表) 全体を通して共通するものを探し、観点を絞った。例えば「学び方」「学習の進め方」が児童の主体性を生かせるか。また、「知識・技能」については、低・中・高に分けて、言語をどのように扱っていくかを確認した。4社ともそれぞれに工夫が見られた。

(委員 E) 書き言葉の読み取りが正確に行えず正確な理解ができない子供の実態に対して、工夫をして対応している教科書会社はあったか。

(調査員代表) 東京書籍は言葉の力をイメージしている。光村図書は学年に応じた語彙を提示する機会を設けている。という工夫をしていた。

(委員 F) これまで国語では、教材を読み進めるイメージがある。問題解決的な学習で見通しをもって学んでいくといった視点の教科書はあったか。

(調査員代表) 東京書籍は、作文等の例を示すことで書くことの学習への参考になる。学校図書では、学年の最初にその学年で付けたい力を示し、1年間の学習の見通しをもたせている。教育出版は読むことの表題に子供が一人でも学習できるように大きな字で詳しく書いている。光村図書では、振り返ろうで自己評価ができるようになっている。

(議長) 他の質問はないか。

質問がないので、報告については終わりにする。

(議長) 協議に移る。それぞれ意見願う。

(委員 A) 光村図書が改めて、日本語の良さがわかるつくり、振り返りも見通しももててよい。教育出版も候補である。どの教科書会社も素晴らしい。

(委員 B) それぞれの教科書の素晴らしさはあるが、光村図書、教育出版、東京書籍の3社について、比較するとよい。光村図書は、鉛筆の持ち方が丁寧に説明、指導の流れがよい。等の意見。教育出版は、1年生の漢字が少なく、抵抗感が少ない。思考力・表現力を育成するための工夫がある。等の意見。東京書籍も同様の視点で3番手。

(委員 C) 視点としては、学習過程が明確に示され、学習の見通しが立てやすいか。読むこと書くことの関連性が図られているか。その結果、第1に光村図書、読む教材において学んだことを題材に書く活動など、読むこと書くことをつなげ多面的な手法で思考できるように工夫されている。等の理由。第2に東京書籍。

(委員 D) 公平に判断したが、結果として光村図書。日本文教出版が2番手。

(委員 E) 5・6年生では、中学校のことを考えて1冊にまとめている。読む力への対応についても、光村図書、東京書籍は工夫がされておりプラスアルファの評価が下せる。

(委員 F) 言葉を大事にする工夫が光村にはある。子供たちの日本語、日本文化について効果的に指導できる。

(議長) 他の意見はないか。

意見がないので、協議については終わりにする。

## ②書写

(議長) 書写の調査員代表、よろしく願います。

(調査員代表) 報告書に基づいて、書写4発行者について報告する。

(議長) 質問はないか。

(委員 A) 最近の子供たち鉛筆の持ち方が乱れているように感じる。

どのように扱っているか。

(調査員代表) どの教科書会社においても、筆、鉛筆の持ち方、姿勢を写真や絵で提示している。教育出版は、調査員の会議の際に話題に出た。

(委員 B) 点画の指導について、初任者でも指導できる工夫はあるか。

(調査員代表) 濃淡を分けて、はらい、曲げを明記。点線を使って力の加減が分かるように工夫しているところもある。

(委員 C) 光村図書について、問題解決型の学習が反映されているとあったが、他にも問題解決型が反映されている教科書会社があるか。

(調査員代表) すべての教科書会社は、全学年において学習過程を明確に示し、見通しをもって学習に取り組めるように工夫している。光村図書は吹き出しで考える際のポイントが示されていた点で特徴がある。

(委員 D) 点画について、濃淡や点線等があったが、現場の感覚としては、どういったものがよいと考えるか。

(調査員代表) 3社ほど、はじめに書く上でのポイントが示され、手本が提示されていてよい。ポイントが明確だと指導がしやすい。

(議長) 他の質問はないか。

質問がないので、報告については終わりにする。

(議長) 協議に移る。それぞれ意見願う。

(委員 A) 光村図書である。持ち方と姿勢が全学年に提示してある。筆の動きが分

かるように朱墨を使う。巻末に1年間で学んだ漢字が一覧になっており見やすい。次点で、日本文教出版、学校図書の順である。

(委員 B) 光村図書である。原寸大の見本があってよい。書き順の指導が明確。筆使いの指導が丁寧。基本的に、見開きでまとまっていて指導しやすい。導入部分が丁寧、運筆が見やすい。等の理由。続いて教育出版社である。書き順と読みが丁寧。都道府県名に丁寧にルビが振ってあり、読みを理解した上で文字を覚える。などの理由である。

(委員 C) 光村図書である。毛筆のあとに学習内容を生かす活動などがある。選定の視点としては、学習過程が明確に示されている点である。次点は学校図書である。

(委員 D) どの教科書もよく、これが悪いという話題にはならない。全体的によい。今までの継承も大事だが、変化も大事だと考える。今回そのように考え、検討したが、光村図書となった。

(委員 E) 鉛筆の持ち方、筆の穂先の動き等もわかりやすい。

(議長) 他の意見はないか。

意見がないので、協議については終わりにする。

### ③社会

(議長) 社会の調査員代表よろしく願います。

(調査員代表) 報告書に基づいて、社会3発行者について報告する。

(議長) 質問はないか。

(委員 A) 世界各国との関わりについて、事実に基づいて適切に表されているのはどの教科書か。

(調査員代表) 3社とも様々な視点から平等に取り上げている。

(委員 A) 児童にとってわかりやすい表記であるか。

(調査員代表) 内容を見開き 1 時間で完結させたり、子供の言葉で質問があったり、実際に働いている人の言葉を引用しているなどわかりやすくしている。

学習過程が分かるような工夫があり、見通しをもって進められる。

これらの工夫は 3 社ともある。

(委員 B) 社会科という教科の特性から、課題解決学習を行いやすいと考えるが、学習過程の示し方として、この会社がよいというものがあったか。

(調査員代表) 子供が興味関心をもつことが大切であり、写真を比較して問題提示というような資料、学び方コーナー等を提示して、社会的な見方・考え方のヒントがある。調べ方、まとめ方のヒントを提示しながら子供たちが自主的に解決しやすいような工夫がされている。

選択、判断、行動では、現代的な問題について関心をもって考えてもらえるような工夫もしている。

(委員 C) 課題の出し方は 3 社比較してどうか。

(調査員代表) 課題も幾つか選ぶことが出来るような教材となっている。課題の絞り方は各学校において年間指導計画で見通しをもって取り組んでもらうこととなる。

(委員 D) 社会的な見方・考え方が 3 社のうちで優れているところはあったか。

(調査員代表) まとまって見方・考え方が提示されているものもあり、1 時間で提示されているものも 3 社ともある。

(委員 E) 教育出版の 6 年生の教科書では現代社会から始まっている。現代史をはじめにもってきていることについて、調査員からの議論はあったか。

(調査員代表) 学習の順番としては、政治、歴史、国際となった。教育出版は分冊を 1 冊に、東京書籍は歴史と政治、国際の 2 冊に分けた。順番の入れ替えについ

での議論はなかったが、分冊がよいのか、1冊がよいのかを話し合った。

それぞれ一長一短であるとなった。

(議長) 他の質問はないか。

質問がないので、報告については終わりにする。

(議長) 協議に移る。それぞれ意見願う。

(委員 A) 東京書籍、日本文教出版、教育出版の順番である。

6年生が分冊であり読みやすい、対話形式で進む構成がよい。実生活につながるよう意識した内容となっている。

(委員 B) 東京書籍である。社会情勢が事実に基づいている。自然災害等についても扱いがある。親しみやすいキャラクターを用いている。分冊であることで子供たちの負担が軽減される。問題解決型の学習が進めやすい。

続いて教育出版である。文章そのものが子供たちへの問いかけとなっており、考えさせる内容になっている。振り返りが各所にあり、学んだことを理解できる。ページ数が多いことで情報量が多い。

(委員 C) 選定の視点は、知識や技能の習得、学習過程が明確に示され見通しが持ちやすいか。東京書籍、問題解決的な学習が楽しく進めることができる。基礎的・基本的な知識や技能の習得と活用が図られるよう工夫されている。分冊による持ち運びのよさや使いやすさ。

同様の視点で、2番手が教育出版である。

(委員 D) 東京書籍、教育出版の順である。特に、東京書籍は、情報が多岐にわたり掲載されており、資料等を活用して学習を進めやすい。また、学習の流れが常に明確に示されている。

(議長) 他の意見はないか。

意見がないので、協議については終わりにする。

#### ④地図

(議長) 地図の調査員代表よろしく願います。

(調査員代表) 報告書に基づいて、地図2発行者について報告する。

(議長) 質問はないか。

(委員A) どんなところに心を配って地図帳が作成されているか

(調査員代表) 地図帳を見る約束事、どこを見ればわかるか。使い方や索引の使い方について地図帳を使用する上での見方・考え方が分かるよう工夫している。社会科のみならず他の教科等でも使用できるようにしている。

(委員B) 地図が読めない児童がいると思うが、配慮している教科書会社はあるか。

(調査員代表) ページ数では帝国書院が使い方に12ページ割いている。東京書籍と比較して、冒頭の部分が多いので、ページ数も多くなっている。

(委員C) いろいろと資料がある。調査員から見て、見やすさ、調べやすさ等の工夫について話題はあったか。

(調査員代表) 東京書籍は歴史学習とのつながりが多い。6年生の歴史学習とのリンクが見られる。学習の振り返り、興味や関心を高めるための工夫はある。帝国書院は、明るく鮮明なつくり。様々な縮尺の地図があるなどの工夫がある。

(委員D) 資料について、図の数、統計等の数を比較すると違いが見られる。ICT等の活用で充実が求められており、両社とも対応している。高度なものは公立の学校では困難がある。基本的な活用について、議論はあったか。

(調査員代表) QRコード、教科書会社のウェブサイト等で、クイズや動画、白地図が家庭学習で使用できるよう、授業で補助的に使用できるよう工夫されている。興味や関心を高められるように工夫されている。これからのICT機器の導入

を見越してのものであろう。という話題になった。

(議長) 他の質問はないか。

質問がないので、報告については終わりにする。

(議長) 協議に移る。それぞれ意見願う。

(委員 A) 帝国書院、東京書籍の順である。

開けたときに見ただけで楽しい、理解しやすいように内容の載せ方や配置、色使い等も工夫されている。社会との関わり、6年生とのつながりも大切。地図が読めないのも困るので、易しいものがよい。最初の出会いがよいものであるように。

(委員 B) 帝国書院、東京書籍の順である。

地理に対する基礎的な知識に重点、地図を使用する子供たちの視点、見やすさわかりやすさが追求されている。自学自習で活用できる。データ量が多く、教科書と併せて使用できる。

(委員 C) 発達段階に応じた活用の工夫がされているかを選定の視点としている。

帝国書院は、地図の見方、約束等活用できるよう工夫されている。

(委員 D) 帝国書院を推薦する。地図帳は来年度より3年生から扱うようになる。

(議長) 他の意見はないか。

意見がないので、協議については終わりにする。

## ⑤算数

(議長) 算数の調査員代表、よろしく願います。

(調査員代表) 報告書に基づいて、算数6発行者について報告する。

(議長) 質問はないか。

(委員 A) 各社工夫されていると思うが、学力・学習状況調査では、埼玉県は算数・数学は低い。特に活用の部分について工夫がされている教科書会社はあったか。

(調査員代表) 基礎基本、活用する力、考える力を伸ばすのは、どの教科書会社も意識して作っている。例えば、過去の問題と似ている問題を扱う教科書は、東京書籍や学校図書において少し多い印象である。

(委員 B) 算数は苦手意識があると思う、段階を踏んでいく中で、子供たちが学びやすいように工夫している教科書会社はあるか。

(調査員代表) 例えば、東京書籍は、1年生の2単元をA4判にし、開いてそのうえで操作できるような特徴がある。いいか悪いかは分冊になっているので、考え方は様々かと思う。

(委員 C) その取り組みは良いと考えるか。

(調査員代表) 個人としては、別冊となっていることは取り組みやすさと感じる。コピー等をする必要はなくなる。新たな取組と感じている。

(委員 D) それぞれ工夫されていると思うが、特に算数のよさが分かるもの。中学校への接続が配慮されているものはあるか。

(調査員代表) 東京書籍がよいと感じる。配列も教科書会社によって異なる。中学校との関連では、どの教科書も配慮してはいるが、東京書籍は小中の接続を意識した振り返りがある。

(委員 E) 学力向上の一つの方策として家庭学習がある。教科書の中で、家庭学習に導くような工夫、その差などあれば、教えていただきたい。

(調査員代表) どの教科書も、家庭でこのホームページを開けば、学習できるという取り組みがある。家庭環境に差があるので、難しいかもしれないが、全ての教科書会社で取り組んでいる。

(議長) 他の質問はないか。

質問がないので、報告については終わりにする。

(議長) 協議に移る。それぞれ意見願う。

(委員 A) 東京書籍、啓林館、日本文教出版の順である。

スモールステップが設定されていて丁寧でわかりやすい。色合い、図の配置、字の大きさ等全体的に落ち着いている。なぜ算数を学ぶのかなどもあってよい。

(委員 B) 東京書籍、学校図書、啓林館の順である。

学びの扉等、組み立てが詳しい。1年生が入りやすい。2年生の繰り上がりがシンプルでわかりやすい。考えたり学び合ったりと式から考える。余白や隙間に自由度がある。子供の学習意欲を引き出す工夫。主体的、対話的で深い学びが体现されている。学習が効率的に進められる工夫。

(委員 C) 数学的な見方・考え方の育成を図る工夫、算数の学ぶ意義を実感できる工夫を選定の視点とした。その結果、東京書籍、教育出版、啓林館の順である。東京書籍は、数学的な見方・考え方に焦点を当てて振り返る「つないでいこう算数の目」があり、学習の出口を、答えを求められるかの確認にとどめることなく、数学的な見方・考え方の成長を図るものとなっている。

(委員 D) 東京書籍、教育出版、日本文教出版の順である。

スモールステップであること、既習事項を使って学習に取り組む工夫がある。

その他、問題解決的な学習の展開、考え方を育てる工夫もある。

(議長) 他の意見はないか。

意見がないので、協議については終わりにする。

(議長) ここで、公開についても終了とさせていただきます。

傍聴人の皆様には、ご退席をお願いする。

選定の後、再度入室をお願いする。

協議終了、傍聴人退席・・・・・・→採択決定時に再入場

### (3) 選定

(議長) それでは、選定を行う。事務局より説明をお願いする。

(事務局) 規約に基づいて種目ごとの選定方法を説明。

(議長) まず国語について選定を行う。協議の際、各市町、光村図書選出の記録がある。

採択案として選定させていただきます。

(他委員) 異議なし。

(議長) 続いて、書写について選定を行う。各市町、光村図書選出の記録がある。

採択案として選定させていただきます。

(他委員) 異議なし。

(議長) 続いて、社会について選定を行う。各市町、東京書籍選出の記録がある。

採択案として選定させていただきます。

(他委員) 異議なし。

(議長) 続いて、地図について、選定を行う。各市町、帝国書院選出の記録がある。

採択案として選定させていただきます。

(他委員) 異議なし。

(議長) 最後、算数について、選定を行う。各市町、東京書籍選出の記録がある。

採択案として選定させていただきます。

(他委員) 異議なし。

(議 長) それでは、確認をする。

国語、光村図書。書写、光村図書。社会、東京書籍。地図、帝国書院。

算数、東京書籍である。この後、採択案の確認として伝える。

以上で選定を終了する。

~~~~~ 暫時休憩 ~~~~~

(議 長) それでは、傍聴人の入室をお願いします。

傍聴人再入場

(議 長) それでは、再開する。

採択用教科用図書の採択案の確認をする。

選定の結果、国語は光村図書を第七採択地区小学校用教科用図書採択案としてよいか。

(他 委 員) 異議なし。

(議 長) 国語は光村図書を選定する。

(議 長) 書写については、光村図書を採択案としてよいか。

(他 委 員) 異議なし。

(議 長) 書写は光村図書を選定する。

(議 長) 社会については、東京書籍を採択案としてよいか。

(他 委 員) 異議なし。

(議 長) 社会は東京書籍を選定する。

(議 長) 地図については、帝国書院を採択案としてよいか。

(他 委 員) 異議なし。

(議 長) 地図は帝国書院を選定する。

(議 長) 算数については、東京書籍を採択案としてよいか。

(他 委 員) 異議なし。

(議 長) 算数は東京書籍を選定する。

(議 長) 以上をもって、午前の部を終わる。事務局より連絡をお願いする。

(事 務 局) 午後の日程の説明。

(議 長) 以上をもって午前の予定を終了する。

~~~~~昼食休憩~~~~~

(2) 調査員による調査研究結果の報告・協議

(議 長) 午後の部を開始する。

#### ⑥理科

(議 長) 理科の調査員代表よろしく願います。

(調査員代表) 報告書に基づいて、理科6発行者について報告する。ただし信濃教育出版社については「見本本が届いていないこと」により、5発行者について報告する。

(議 長) 質問はないか。

(委 員 A) 5社の中で安全に関する配慮はすべてであると思うが、より児童や先生にわか

るようにしている部分で差異はあるか。

(調査員代表) 安全に関する表記はすべての教科書しっかりと明記されているのを確認している。

(委員 B) 導入の写真や資料について、調査員の会議の中で意見があったか。

(調査員代表) 動機づけを重要と捉え、導入の写真や資料はどこも工夫されている。それぞれ教科書会社ごとの工夫があり、どれがよいというものはない。

(委員 C) 「新しい理科」「楽しい理科」など教科書の名前に工夫があるが、調査の中で意見があったか。

(調査員代表) その議論はなかった。それぞれ教科書会社が工夫している部分だと思う。

(委員 D) 表紙に科学者の写真が前面に出ている教科書があった。以前との違いは、他にはあるか。

(調査員代表) 表紙だけでなく、コラム、巻末に科学者に触れる教科書もある。児童にとって科学がより身近なものとして近づいたと感じている。

(委員 E) 理科は他の教科と異なり、実験がある。その楽しさを表している教科書会社はあるか。

(調査員代表) 同じ単元の同じ内容においても、5つが全く同じ手法ではない。それぞれが工夫している。もし、現場の教員であれば、5つ並べてよい手法を選択したい。

(委員 F) 問題解決的な学習過程は、それに則って教科書は出来ているだろうが、「まとめ」や「結論」と教科書会社によって表現は違う。3年と6年は発達段階が異なる。発達段階を考慮した教科書作りをしている会社はあるか。

(調査員代表) すべての教科書会社が学習指導要領に則って教科書を作成している。それぞれの段階で身に付ける力は変わっている。それぞれをステップアップしている。問題解決の過程は、各学年に応じて工夫されている。

(委員 G) 理科が楽しくなるというような中身の工夫はあるか。

(調査員代表) 理科の楽しさは、見た目で分かる楽しさではない。自分で実験や観察を行い発見することや今まで聞いたことないような事象に出会うような場合である。教科書の表記と理科の楽しさが直結するものではないかと思う。

(委員 H) 教師が教える楽しさは伝わるような作りになっているのか。

(調査員代表) それぞれの教科書会社がよく作り上げている。

(議長) 他の質問はないか。

質問がないので、報告については終わりにする。

(議長) 協議に移る。それぞれ意見願う。

(委員 A) 教育出版、学校図書の順である。

人体の大きな図が分かりやすい。写真等について児童が興味を持ちやすいように工夫されていると感じた。表紙に迫力があってよかった。

(委員 B) 教育出版、大日本図書、東京書籍の順である。

対話的に進めるような配慮、比べる言葉、関連づける言葉など自分の考えを伝え合う際に大切にしたい言葉など、主体的、対話的で深い学びへのつながりを考慮した内容になっている。学習の振り返りができる。実験の手順が分かりやすい。伝えることを意識し、各学年で育てたい力を明記している。右ページに流れがあり、展開が分かりやすい。

(委員 C) 選定の視点としては、学習の系統性、見易さであり、教育出版がよい。もうすぐ中学生などもあり中学校との関連性を示している。また、他教科との関連も意識している。子供の科学的な思考力を伸ばすことができるよう教科書が工夫されている。啓林館、学校図書の順で続く。

(委員 D) 教育出版、東京書籍の順である。

実験などの楽しさを伝えるなどについては、差がないが、一つの実験を整理し、まとめている点が良い。自由研究の内容が丁寧であり、理科が好きになるかとも思う。

(議長) 他の意見はないか。

意見がないので、協議については終わりにする。

## ⑦生活

(議長) 生活の調査員代表よろしく願います。

(調査員代表) 報告書に基づいて、生活7発行者について報告する。

(議長) 質問はないか。

(委員A) 活動が多いため、地域とのつながりが重要になると思う。そういった視点で対応している教科書はあるか。

(調査員代表) どの教科書においても、家庭との連携、地域社会を意識している。取り上げ方は様々だが、QRコード等で動画や資料が得られるよう工夫されている。家での取組を掲載しているところもある。

(委員B) 安全面も大切だが、そういった面はどうか。

(調査員代表) 全社、様々な安全配慮がある。巻末に資料でまとめられていたり、防災についても掲載したりしている。

(委員C) 児童の使いやすさも大事だが、先生が指導するために使用しやすさについて、議論はあったか。

(調査員代表) 調査員の話や、私見ではあるが、板書例があることなどは、ヒントになると感じる。板書については、数社あった。タグのようなものの扱いもわかりやすい。表現の仕方は、様々だが、どの教科書会社も工夫している。限られた紙面を精選して工夫していると感じる。

(委員 D) 生活科や理科は教科書を主に教えるわけではなく、実際の事象に向き合いながら、学ぶことになる。主体的に児童が学びに向かっていく工夫、対話的な学習を醸成するような工夫や、生活科の特質に則った活動を促しやすい教科書会社はあったか。

(調査員代表) 生活科のとりかかりとして、具体的な例が写真で掲載されている。児童の目線で提示され、最初のページに掲載されているものは、とても大切であると感じる。教育出版や大日本図書などに特徴としてみられた。また、日常生活からの始まりを大切にしているのは、啓林館や学校図書についてみられた。反対に、いろいろな資料が多くなると、児童が集中できないという心配の意見も出た。

(委員 E) 外国籍の児童や障がいのある児童が写真やイラストで登場する。多様性の素地を作るような工夫をしているが、力を入れている会社はあるか。

(調査員代表) どの教科書会社もそれぞれ配慮している。いろいろな国の人、高齢者、外国籍を掲載する等工夫している。

(委員 F) 生まれてから自分の成長をまとめる活動において、以前は、生まれたころなどの写真を集め、年表のようにまとめる活動があったかと思うが、その題材での取り上げ方は、話題になったか。

(調査員代表) 話題になっていない。感謝ということばについて、話題になった。「ありがとう」をたくさん使っている教科書は、押しつけになっていなくて、よいという話題になった。

(議長) 他の質問はないか。

質問がないので、報告については終わりにする。

(議長) 協議に移る。それぞれ意見願う。

(委員 A) 光村図書である。絵や写真の掲載の仕方がよい。保護者に向けた内容が生活

科の特徴を捉えていてよい。春夏秋冬の扱いが興味を引きやすい。続いて日本文教出版である。ちえとわざの宝箱など、工夫されている。次点として、学校図書、東京書籍である。

(委員 B) 啓林館である。3段階で学習を捉え、児童もわかりやすい。補助資料も段階的に用意されている。障害のある人や外国籍の人への配慮があると思う。写真の大きさ、撮り方もよい。困った子への対応が吹き出しにある。続いて東京書籍である。A4サイズで写真や文字も見やすい。色使いが目に優しくわくわくするような紙面である。同点で教育出版である。内容は啓林館と同様であるが、啓林館よりやや落ちる。家庭環境も複雑であり、家庭での保護者との取組を取り上げることが果たしてよいかと意見が出た。

(委員 C) 大日本図書は、発達段階に応じて伝え合いの場面が多くある。気づき等を共有化し、質を高め、次の活動へとつなげるような流れになるよう工夫している。体験活動と表現活動がもう一度繰り返されるように配列が工夫されている。続いて啓林館、教育出版の順である。

(委員 D) 東京書籍、教育出版、啓林館の順である。

写真やイラストが豊富で、吹き出しの示し方等が有効であると感じた。

(委員 E) 家庭環境は多様になっているので、家庭や地域を学習の場としている教科については、工夫していかななくてはいけないと思う。取り外すポケット図鑑は有効であると感じる。

(委員 F) 教科書を見て悲しむ児童がいてはけない。現在、様々な家族形態があり、配慮していかななくてはいけない。

(議長) 他の意見はないか。

意見がないので、協議については終わりにする。

## ⑧音楽

(議長) 音楽の調査員代表よろしくお願ひする。

(調査員代表) 報告書に基づいて、音楽 2 発行者について報告する。

(議長) 質問はないか。

(委員 A) 最近の音楽について、幅広くなっているが、扱いとしてはどうか。

(調査員代表) 教育出版では、ジャズやコード進行などを高学年で取り扱っている。教育芸術社では作る音楽で扱いがある。どちらも現代風の音楽を取り扱っている。

(委員 B) 日本古来の音楽について、伝統的な音楽の扱いはどうか。

(調査員代表) 両社とも 4 年生から 6 年生まで配列されている。教育出版は 1 年生のわらべ歌が多い。教育芸術社は高学年で歴史と共に古典芸能の移り変わりを年表と共に表すなどしている。

(委員 C) 演奏する楽器があるが、和楽器など新しい楽器は購入が必要か。

(調査員代表) 鑑賞教材で音として児童に提供されている。教育出版では、角笛をリコーダーで演奏できるように、教育芸術社はお囃子や和太鼓についてうまく使えるようにし、新たな楽器の購入はないよう配慮されている。

(委員 D) それぞれの教科書の授業に反映できる良さはあったか。

(調査員代表) 教育出版では、音楽の質について学べるような教材が追求されている。扱いは教師の指導力による。教育芸術社は、社会とつながる視点で幅広く、自然の音や生活の中の音、障がい者スポーツに関わる音などの内容が含まれている。

(議長) 他の質問はないか。

質問がないので、報告については終わりにする。

(議長) 協議に移る。それぞれ意見願う。

(委員 A) 教育芸術社である。非常に幅広い、歌舞伎や和楽器などの取扱いもよい。次点は教育出版である。音楽をつき進めたい児童にはよい。

(委員 B) 教育芸術社、教育出版の順である。巻末に1年間の振り返りがあり、1年間の学習の流れが分かりやすい。めあてが明確で指導しやすい。多様な音楽に取り組めるよう系統的に配列されている。資料が多く、思考力・判断力を育てるのに適している。

(委員 C) 教育芸術社である。言語活動による対話的な学びを重視し、音楽を形作っている要素が示されている。

(委員 D) 教育芸術社である。スポーツ選手の掲載もある。琴やリコーダーの扱いも理解しやすいのではないかと感じる。

(議長) 他の意見はないか。

意見がないので、協議については終わりにする。

## ⑨家庭

(議長) 家庭の調査員代表よろしく願います。

(調査員代表) 報告書に基づいて、家庭2発行者について報告する。

(議長) 質問はないか。

(委員 A) 男性も家庭科の技能が必要だが、そういったところで男女の差なく授業が取り組める内容になっているか。

(調査員代表) どちらの教科書も、経験が少なくても大丈夫なように工夫されている。

(委員 B) QRコードがそれぞれあるが、具体的には、内容に差があるか。

(調査員代表) 包丁の使い方、針の扱い、玉止め玉結びなどの動画で分かるようになっている。どちらの教科書も授業でも家庭でも使用でき、差はないと感じた。

(委員 C) 学校で学んで実際に家庭で試すことになると思う。そういった観点で、どち

らの教科書の例示がよいというような印象はあったか。

(調査員代表) 両社とも、家庭でどう実践するかということは工夫して示されていた。長期休み前や単元が終わった後に例示があった。

(委員 D) 安全に対する配慮の違いはあったか。

(調査員代表) 安全に関しては、両社ともマーク等で示して配慮があった。

(委員 E) 調査員の率直な意見を伺いたい。

(調査員代表) どちらも豊富な資料、写真やイラストがある。東京書籍はサイズが大きいので、印象に残っている。開隆堂は見開きで流れが分かりやすい、文字が大きい印象がある。

(委員 F) 実践が大切だと考えるが、そういった視点で捉えると、どちらがよいというような傾向はあるか。

(調査員代表) どちらも家庭での実践につながるような流れになっている。

(委員 G) 家庭環境は多様化しているが、学習内容と実生活とのズレを扱っているか。

(調査員代表) 実際に経験は少なくなっている。授業で触れることが「初めて」ということが多い。経験が少ない児童でもわかりやすくという工夫がある。また、和食について取り上げ、地域の食についても取り上げている。

(議長) 他の質問はないか。

質問がないので、報告については終わりにする。

(議長) 協議に移る。それぞれ意見願う。

(委員 A) 開隆堂である。調理器具の使い方、お茶の入れ方等丁寧に扱っている。家庭での手伝い等にも触れている。

(委員 B) 開隆堂、東京書籍の順である。

巻頭で目指すべき姿がはっきりしている。児童がチャレンジしたいと思う

提示がある。QRコードがよい。学習のめあてが明記されていてわかりやすい。比較の写真がある。活動の流れがわかり、見通しが立てやすい等の意見がある。

(委員 C) 開隆堂である。日常生活の中でなぜそうするのか、という問いかけがあり、問題解決につながる。見方・考え方を基に実践的に学習できる。

(委員 D) 開隆堂である。科学的な視点から考えることができるようになっている。

(議長) 他の意見はないか。

意見がないので、協議については終わりにする。

## ⑩保健

(議長) 保健の調査員代表よろしく願います。

(調査員代表) 報告書に基づいて、保健 5 発行者について報告する。

(議長) 質問はないか。

(委員 A) 体育の学習と関連づけて記載されている会社はあるか。

(調査員代表) 学研教育みらいでは技能と実習のマークがあり、関連を分かりやすくしている。東京書籍ではステップが 1 から 4 で示されていて、段階の中で体育の学習と思考がつながるように工夫している。

(委員 B) 現代は児童の成長が早いと思うが、保健での表現は適切か。

(調査員代表) 5 社とも適切であると考えます。

(委員 C) 性に関する指導について、差はあったか。

(調査員代表) 性に対する内容は各社とも知識について丁寧に扱っている。学研教育みらいでは、体と心のリラックスについて、文教社では体の清潔さについても扱っている。

(委員 D) 男女の表現の方法について、写真やイラストなどで違和感を覚えるものはな

かったか。

(調査員代表) 違和感や不適切であるというものは、なかった。

(議長) 他の質問はないか。

質問がないので、報告については終わりにする。

(議長) 協議に移る。それぞれ意見願う。

(委員 A) 光文書院、学研教育みらい、大日本図書 の順である。

パラリンピックなどの写真を多く取り入れている。性の悩みを3, 4年生で取り扱う。薬物乱用、癌や飲酒の害といった題材を扱っている。男女差の問題を適切に扱っている。課題が明確になっていて何を学ぶか見通しをもちやすい作りになっている。

(委員 B) 学研教育みらい、光文書院 の順である。

男女の服装を同じにして比較して、LGBTに配慮した作りになっている。いじめに関しても丁寧に扱っている。1時間の学習の流れが分かりやすい。写真や図、グラフ等も指導しやすく工夫されている。東京書籍は、男女の比較が水着であり、適切な表現ではないと意見が出た。

(委員 C) 選定の視点としては、学習課題が明確に示され、運動領域との関連が適切であるかという観点で、東京書籍である。オリンピック、パラリンピックを取り上げ、学習過程のステップ1から4までの扱いもよい。評価についても工夫が見られた。続いて光文書院、学研教育みらいである。

(委員 D) 学研教育みらい、光文書院、東京書籍 の順である。

身近な場面から学習課題を設定し、問題意識を持たせていてよいと感じる。

(議長) 他の意見はないか。

意見がないので、協議については終わりにする。

(議長) ここで、公開についても終了とさせていただきます。

傍聴人の皆様には、ご退席をお願いします。

選定の後、再度入室をお願いします。

協議終了、傍聴人退席・・・・・・→採択決定時に再入場

### (3) 選定

(議長) それでは、選定を行う。

まず理科について選定を行う。協議の際、各市町教育出版選出の記録がある。

採択案として選定させていただきます。

(他委員) 異議なし。

(議長) 続いて、生活について選定を行う。意見が割れたため確認する。大日本図書、

光村図書、啓林館、東京書籍、日本文教出版、教育出版、学校図書の選出の記録がある。4市町で重なることを重視したいため、1つだけの大日本図書、光村図書、日本文教出版、学校図書は除外してもよいか。

(他委員) 異議なし。

(議長) 啓林館、東京書籍、教育出版について協議を進めていく。意見をいただきたい。

(委員 A) 4市町で全会一致は難しい。

(委員 B) 生活科の性質上、教科書のウエイトがどれほどあるかという問題もある。

(委員 C) 教育出版、啓林館のどちらかということになるか。

(委員 D) 理科と生活科との関連があると考えれば、教育出版という見方もある。

(委員 E) 2社の差は、あまりない。各市町の委員が納得できる形であればよい。

(委員 F) 調査員代表からの報告に、教育出版に生活科で育む6つの力が示されているとあった。他の教科書と比較したことであろうと考える。指導する教員の使いやすさにつながると考えた。

(議長) 様々な意見をいただいた、教育出版を採択案として選定させていただく。

(他委員) 異議なし。

(議長) 続いて、音楽について選定を行う。各市町、教育芸術社選出の記録がある。採択案として選定させていただく。

(他委員) 異議なし。

(議長) 続いて、家庭について、選定を行う。各市町、開隆堂選出の記録がある。採択案として選定させていただく。

(他委員) 異議なし。

(議長) 最後、保健について、意見が割れているので確認する。学研教育みらい、光文書院、東京書籍選出の記録がある。東京書籍は選出した市町が少ないので除外してよいか。

(他委員) 異議なし。

(委員 A) 再度、教科書を見て比較するのは、どうか。

(委員 B) いじめなどの取り上げ方は、やはりよい。

(委員 C) 光文書院は、写真などの資料がよい。学研教育みらいは、心の問題やいじめに焦点を当てている。

(委員 D) いじめについては、様々な教科で取り扱う必要がある。いじめの扱いがある学研教育みらいがよい。

(委員 E) 各市町の一番目の選出という視点もある。

(議長) 協議の結果、学研教育みらいを採択案として選定させていただく。

(他 委 員) 異議なし。

(議 長) 以上で選定を終了する。

~~~~~暫時休憩~~~~~

(議 長) それでは、傍聴人の入室をお願いします。

傍聴人再入場

(議 長) それでは、再開する。

採択用教科用図書の採択案の確認をする。

選定の結果、第七採択地区小学校用教科用図書、理科は教育出版を採択案としてよいか。

(他 委 員) 異議なし。

(議 長) 理科は教育出版を選定する。

(議 長) 生活については、教育出版を採択案としてよいか。

(他 委 員) 異議なし。

(議 長) 生活は教育出版を選定する。

(議 長) 音楽については、教育芸術社を採択案としてよいか。

(他 委 員) 異議なし。

(議 長) 音楽は教育芸術社を選定する。

(議 長) 家庭については、開隆堂出版を採択案としてよいか。

(他 委 員) 異議なし。

(議 長) 家庭は開隆堂出版を選定する。

(議 長) 保健については、学研教育みらいを採択案としてよいか。

(他 委 員) 異議なし。

(議 長) 保健は学研教育みらいを選定する。

(議 長) 以上をもって、議長の任を解かせていただく。事務局より連絡をお願いする。

(事 務 局) 24日の日程の連絡、内容の確認。

5 あいさつ 第七採択地区教科用図書採択協議会会長（伊奈町教育委員会教育長）

以上をもって本日の予定を終了する。

6 閉 会

(事 務 局) 委員の資料は、回収させていただくので机上に置いて退室願う。